

第 74 回関西学生剣道選手権大会 第 56 回関西女子学生剣道選手権大会

大会要項

1. 主催 関西学生剣道連盟
2. 後援 毎日新聞社 大阪府 大阪市
3. 協賛 株式会社 イシダ
4. 日時 令和 8 年 4 月 26 日 (日) 午前 9 時 30 分開会
5. 場所 おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)
6. 出場資格
 - ・ 関西学生剣道連盟加盟大学に限る
 - ・ 出場選手は連盟に個人登録されている者で登録回数 4 回 (6 年制大学並びに 6 年制学部学科 は 6 回、3 年制大学並びに 3 年制学部学科は 3 回、短期大学は 2 回) までの者に限る。 但し、在学中に学生剣道大会以外の各職域大会に出場した者の出場は認めない。
7. 試合方法
 - (男子) a. トーナメント法により行う。シード選手は置かない。
 - b. 試合は 5 分 3 本勝負とし、勝敗が決まらない場合は 3 分毎に区切り延長戦を勝敗が決するまで行う。
 - (女子) a. トーナメント法により行う。シード選手は置かない。
 - b. 試合は 5 分 3 本勝負とし、勝敗が決まらない場合は 3 分毎に区切り延長戦を勝敗が決するまで行う。

※注意 (男・女共)

 - ・ 補欠として登録済みの選手 2 名以外は、交代を認めない。
 - ・ 選手の交代は、前日迄に届けた者に限る。
8. 試合規則並びに審判規則等
全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則・剣道試合・審判細則及び剣道試合・審判運営要領に準じて行う。
9. 審判員構成
関西学生剣道連盟加盟大学卒業生を以って構成することを原則とする。
10. 表彰
 - [男子] 優勝・準優勝・三位 (2 名) ・優秀選手 (4 名)
 - [女子] 優勝・準優勝・三位 (2 名) ・優秀選手 (4 名)
11. 第 74 回全日本学生剣道選手権大会並びに第 60 回全日本女子学生剣道選手権大会出場

資格〔男子〕本大会においてベスト 32 に入った選手は出場権を得る。

〔女子〕本大会においてベスト 20 に入った選手は出場権を得る。

12. 第 73 回全日本学生剣道東西対抗試合並びに第 20 回全日本女子学生剣道東西対抗試合出場資格 ・本大会上位進出者から、男子は正選手 8 名と補欠 2 名、女子は正選手 4 名と補欠 1 名を選出 する。

・選考は、関西学生剣道連盟理事長の招集による理事及び東西対抗試合の監督を構成員とする「選考会議」にて行う。

※ 選考に際しては試合結果のみならず、試合内容等含め、総合的に勘案する。

※ 選手が決定次第、所属大学へ連絡する。

※ 選考会（選考試合）は行わない。

第74回関西学生剣道選手権大会

第56回関西女子学生剣道選手権大会

大会申し合わせ事項

1. 登録について

- 1) 試合に出場する選手は指定された期日までに所属連盟に選手登録をしなければならない。
- 2) 不正登録により選手資格を得た者はこれを取り消す。

2. 名札について

大学名及び個人名を記入した名札を着用しない選手は出場できない。同じ大学に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の1文字を入れること。なお、上記の該当する選手が発覚した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。

3. 竹刀に関して

- 1) 竹刀検査は、所定時間内に竹刀検査所において検査済みシールの貼付を受けること。
- 2) 竹刀検査は、別紙の「竹刀検査要領」に沿って実施する。
- 3) 竹刀は、柄に大学名・名前のみを明記したものとし、検査の対象は一人3本(二刀の場合、大小各3本)までとする。
- 4) 鐙は、皮革又は化学製品の円形のものとし、直径は9センチメートル以下とする。なお、鐙止めを必ず使用し、鐙を正しく所定の位置に固定すること。
- 5) 規格外竹刀の使用が発覚した場合は、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。
- 6) 規格外と判断された竹刀は、その場で返却する。

4. 剣道用具等について

- 1) 面については、肩関節の保護ができる面ぶとんの長さが確保されていること。面紐の長い場合は、切断する。面紐の結び目の位置は、目の後方の後頭部中央部分とし、大会中、結び目の位置が安全性に支障があると判断した場合は、締め直しをする。
- 2) 小手ぶとんは、前腕の1/2以上を保護しているものとし、えぐり(クリ)の深さは2.5センチメートル以内とする。
- 3) 剣道着の袖の長さは、自然に構えた状態で、「肘」が完全に隠れて袖口から露出しないものとする。但し、袖が小手ぶとんにかからない程度とする。
- 4) サポーター等の使用は、医療上必要と認める場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。使用する場合は、事前に確認書を提出すること。テーピングの使用については、不要とする。また、新たに必要になった場合は、届け出ること。

5. その他

- 1) 監督不在の場合は、監督代理人を1名たてることができる。また、出場選手が3名以上の場合、監督のほか監督代行を立てることができる(申請可能人数は「監督代行届」に記載)。但し、監督代理人・監督代行は事前に届けられた者とする。
- 2) 選手の付き添いは、監督(監督代理人・監督代行)、主務とする。
- 3) 頭髪が長い場合は、髪を束ねて、背中を目印にかからないようにする。
- 4) ミサंगा、パワーバランスなどの剣道に必要なものは身に付けない。
- 5) 本大会は全剣連の「感染症予防ガイドライン」(2024.9.1施行)に基づき安全な運営に努める。
- 6) 選手は感染症防止のため、マスクもしくはシールドのどちらかを着用すること

第 74 回関西学生剣道選手権大会
第 56 回関西女子学生剣道選手権大会
大会注意事項

1. 開会式及び閉会式について

- 1)開会式及び閉会式には、剣道着・袴・胴・垂を着装した状態で臨むこと。
 - 2)開会式の進行を簡潔にするため選手は指定された場所に速やかに集合すること。
 - 3)閉会式は、原則として、出場選手は全員出席すること。(閉会式をやむを得ず欠席する場合は欠席届を本部へ監督または、監督代理人が提出し、承諾を得ること)
2. 応援は座ったまま拍手でのみ行い、声援は禁止する。
 3. 入場者は所定の場所以外への移動は禁止する。
 4. 館内でのフラッシュ撮影等は禁止する。
 5. 試合場内へは、役員・監督（監督代理人）・選手・主務（主務代理人）等所定の ID カードをつけた者以外の入場を禁止する。
 6. 指定された席以外のロビー・通路等での場所取りは禁止する。
 7. 喫煙は、指定場所のみとする。
 8. 館内のコンセントの使用は禁止する。
 9. 飲食は観覧席のみとする。指定された場所以外での飲食は禁止する。
 10. ごみについては必ず持ち帰りとする。
※大会開催施設及び近隣施設（コンビニ・最寄り駅等）への「ごみ廃棄」対策として、ごみ箱を連盟として所定の場所に設置するが、利用する場合は必要最小限とし、決められた通りに分別して廃棄すること。
 11. 試合場・アップ会場以外のアップを禁止する。
アリーナおよびサブアリーナ内以外では、靴等を履き、決して裸足のままでは歩かないこと。
 12. 違法駐車に対しては厳しく対処する。
 13. 送迎については会場前道路及び近隣の施設（コンビニ等）では行わない。
 14. 貴重品・手荷物等については各自責任をもって管理すること。大会開催中の盗難・紛失に関しては、当連盟は責任を負わない。
 15. 部旗は縦幅 100 センチメートル、横幅 150 センチメートルの規格のものを掲示する。誤差は縦横ともに 10 センチメートルとする。
 16. 本部席への立ち入りは、選手・監督及び監督代理人は原則禁止とし、立ち入りは役員・来賓及び大会関係者のみに限定する。

大会における動画の撮影、並びに撮影した動画の取り扱いについて

1. 大会会場において、個人利用の目的で動画撮影等を行うことは差支えないが、有償、無償に関わらず不特定多数の者にインターネット上やその他の方法で公開若しくは頒布することを禁止する。
2. 大会会場における動画撮影は、大会の運営を妨げないこと。また、観客等に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。但し、試合場内での動画撮影は原則、禁止する。

※大会要項・注意事項を遵守しない大学に対しては、厳正に対処する。

以 上